

2023-2024年度 RI会長方針と地区ガバナー方針

ゴードンR・マッキナリー RI会長テーマと方針 「Create hope in the world 世界に希望を生み出そう」

1月8-12日にアメリカ・フロリダ州・オーランドで開催された国際協議会において2023-24年度RI会長であるゴードンR・マッキナリー氏は「Create hope in the world(世界に希望を生み出そう)」と言う会長テーマを発表されました。マッキナリー氏はまずロータリーのビジョンに基づく行動が、これまで大きなインパクトをもたらして来たことを述べ、さらにそれを「継続」することが重要であると指摘しています。つまり「継続」とは以前のリーダーたちの良いアイデアをさらに前進させることであると述べています。継続すべきポイントとして、以下の5点を挙げています。①「ローターアクト」に力を与えると約束し、それを実行してきたこと、②メータ前会長そしてジョンズ会長が積み重ねてきた「女児のエンパワーメント」プログラムを継続させ、世界の少女が強く成長できるよう支援すること、③「DEI」の取り組みを継続し、最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップを受け入れるオープンなロータリーにすること、④ロータリーの最優先事項である「ポリオ撲滅」を追い続け、夢を実現するため、新たな緊張感をもって取り組むこと、⑤「ロータリー行動計画」を受け入れ、持続可能な変化を生むこと。これらを「継続」さらに「前進」させることで、ロータリーはさらに大きな賞賛を受けることになるのです。

次にマッキナリー氏は「今は歴史的なとき」であると指摘しています。一つはロシアのウクライナ侵略によって、世界の平和が脅かされ、多くの人々が壊滅的な被害が受けていると言う事実です。そしてもう一つはコロナ禍の影響によって身近な人を失なったり、また社会的に分断・分裂されることで多くの人々が傷つき、メンタルヘルスの問題に直面していることです。ロータリーはこれまで歴史の呼びかけに答えてきました。そのようなロータリーの得意とするところを継続すると同時に、今の歴史的変化に対して、ロータリーはオープンで前向きに、粘り強く、果敢に、新たな取り組みを行う必要があるとして、「継続と革新の理想的なバランス」について言及しています。ここで「世界と自分自身の中に持続可能な変化を生む」と言うビジョン声明に焦点を当て、「平和の推進」そして「メンタルヘルスへの取り組み」を新たな課題としてクローズアップしています。

会長テーマの「希望」について言及しています。マッキナリー氏はタイで出会った一人の女性の話を紹介します。2004年南アジアを襲った津波により、この女性は夫、娘、息子を亡くしました。その後ロータリーによる支援活動が現地で行われ、それによって女性は「生き続ける希望」を取り戻すことができたと話しました。そのお礼として女性は大切にしていた美しい貝殻をマッキナリー氏にプレゼントしたそうです。そこでマッキナリー氏は「世界と自分自身の中に平和を築く」ための全てのロータリー活動の目標は、「希望を取り戻すこと」、「希望を生み出すこと」と気づいたと述べています。そして「平和とは希望が根づくための土壌である」とし、会長テーマとして「希望」に焦点を



国際ロータリー第2720地区
2023-2024年度 ガバナー
膳 所 和 彦

当てたのです。

マッキナリー氏はメンタルヘルスを重視する利用を述べています。実は彼の実弟はうつ病を患い、自殺してしまいました。その事実だけでなく、コロナウイルス感染拡大により、世界中で多くの人が傷ついたことにも触れています。このパンデミック感染によって多くの身近な人が亡くなり、社会は分断されました。さらに悪いことに助けを求めることが、特にメンタルヘルスの助けを求めることが弱さであると考えられています。助けを求める行動は決して非難されるべきものではなく、非常に勇気ある行動であり、幸せへの道を求めることがもっと勇気が必要なことです。そして以下のような活動を行うことをクラブと地区に奨励しています。

- ①心の健康の話題に伴うステイグマ(偏見)の解消
- ②メンタルヘルスのニーズに関する話題の向上
- ③メンタルヘルスの支援や治癒へのアクセスの改善

次年度の私たちの計画は、世界に平和をもたらし、紛争の影響を受けた人々を癒すこと、そして私自身の内面的な闘いと向き合うためにお互いと地域社会を支え、助けをもとめることに対する社会的偏見をなくすことです。「希望」こそが、世界に、地域社会に、そして自分自身の中に持続可能な良い変化をもたらす方法だと結論づけています。

「Create hope in the world(世界に希望を生み出そう)」

膳所和彦RI2720地区ガバナーテーマと方針

「Rotary is a school, and also a playground ロータリーは学び舎であり、遊び場である」

「Now, rotary action can change the world そして今、ロータリーアクションは世界を変える」

私の次年度地区テーマは「ロータリーは学び舎であり、また遊び場である」としておりました。私が感じているロータリーを非常にシンプルに表現することで、皆さんの記憶に残り、そしてロータリーの原点を再認識していただけることを期待し、あえてこのようなテーマとしました。しかしながら、国際協議会でのマッキナリーリー次年度RI会長の講演を拝聴し、私は衝撃を受けたのです。ロータリーは行動しなければ価値がないことを痛感いたしました。まさに「世界を変える行動人」としてのスタートアップが必要であると確信したのです。そこで第2のテーマとして「そして今、ロータリーアクションは世界を変える」を追加しました。

マッキナリー氏は講演の冒頭で、「私達たちロータリーは、素晴らしい歴史的な年度の真っただ中にいます」と明言しました。今ロータリーは世界からの注目を集め、現在の期待をはるかに超えた可能性への道を示す機会がおとずれたのです。そのためには、これまでの業績を継続させ、さらに前進させることが必要です。実は1年前私がまだガバナー・ミニーの時に作成したガバナーフォーチュンの第1項目には、「ロータリーのリセット」を掲げていました。紛争やコロナ感染拡大のため、世界の動きは停滞しています。ロータリー活動も例外ではありませんでした。多くのクラブで例会が休会やオンラインとなり、また地区での様々な研修会などもこれまでどおりには開催できませんでした。しかしながら、ロータリーは歩みを止めませんでした。そしてリセットすることで新たなステージを目指すべきであると私は考えました。マッキナリー氏の言葉も「ロータリーがさらに前進する」ことを力強く表現していると思います。ロータリーがこれまで取り組んできた経験と、これから持続可能な変化をもたらす力は、必ず世界を変えることになるのです。

私は以下の項目を地区の重点課題として掲げました。

1.ロータリーの原点回帰と未来変革

ロータリーの目的は「職業上の高い倫理基準を保ち、職業を高潔なものとすることで、奉仕の理念を実践すること」です。さらに中核的価値観として、①奉仕、②親睦、③高潔性、④リーダーシップ、⑤多様性を重視することを提唱しています。これらはロータリーの普遍性を意味します。私たちはこのような高潔性と倫理観を失ってはなりません。一方私たちを取り巻く世界は大きく変化しています。IT化の急速な発展により、世界中どこでも、いつでも簡単にコミュニケーションが取れ、情報共有や情報交換を容易に行うことができます。また女性や若者の社会進出は目を見張るものがあり、社会情勢は大きく変貌してきているのです。ロータリーはこのような世の中の変化を受け入れ、2019年に新たに「ビジョン声明」を提言しました。持続可能な良い変化を生むために、私たちは手を取り合って行動しなければなりません。それを実現するための一つのツールが「DEI: Diversity(多様性)、Equity(公平さ)、Inclusion(インクルージョン)」の概念です。私たちは参加者の基盤を広げ、すべての人を受け入れることで目的を達成することを目指します。

2.地区とクラブの関係をより密接な「エンゲージメント」とする

ロータリーは国際ロータリーを頂点とし、ゾーン、地区、クラブ、ロータリアンへとリンクするピラミッド型の組織です。しかし、残念ながらロータリーは完璧なワンチームとしては機能していないかもしれません。特に地区と各クラブ間には少なからずギャップがあると感じているのは私だけではないと思います。ロータリーは世界に誇るべき素晴らしい団体です。そのロータリーアイズムをすべての会員に認識し、またロータリーの一員として行動することを自覚していただくことが、私の希望です。そのためには地区研修会に多くのロータリアンが参加し、地区委員会委員へ多くのクラブから多くの会員が選出されなければなりません。またクラブにおいても各委員長に入会歴の浅い会員を積極的に抜擢する必要があります。IMや出前セミナーを活用し、ロータリーについて勉強する機会を持つことです。このように地区とクラブがより密接なエンゲージメントな関係となることで、地区全体もインクルーシブな組織となれると確信しています。

3.地区戦略計画の実践:[若者と親しみ、ロータリーを繋ごう]

2019年規定審議会でロータークトは正式に国際ロータリーの一員となりました。つまりロータークトは完全な独立した組織となったのです。私たちはロータークトに力を得られるよう協力しなければなりません。つまりロータークトクラブにも地区補助金やグローバル補助金が申請できるようにアシストする必要があります。さらに新たなロータークトクラブ例えば大学生を主体とするクラブの設立を目指したいと思います。若者は将来のロータリーを築くための非常に貴重なリソースなのです。私たちはロータリーに関係するすべての若者に、ロータリーの素晴らしさを伝え、共に活動するチャンスを与えるなければなりません。

4.ポリオ根絶運動のビッグキャンペーンを実施

ご存じのように1985年からスタートしたポリオ撲滅のための活動は、ロータリーの最重要テーマです。当時約40万人いたポリオ感染小児患者は、ロータリーとそのパートナーによって実施された「Polio Plus Now」運動により、現在99.9%減少しました。まさに「This closeあと少し」です。私たちはポリオが完全にフリーとなるまでこの活動を継続してゆくことを決意しています。なぜならば、これは世界の子供たちと交わしたロータリーの約束だからです。

このポリオ撲滅運動をさらに活性化するためには、もっと社会にアピールしなければなりません。世界ポリオデー(10月24日)には世界中の、そして日本中のロータリーが立ち上がり、各地でキャンペ

ペーン活動を行っています。2720地区におきましても昨年10月23日に堀川ガバナーを中心に熊本市で、そして地区内の各地域でポリオ撲滅運動が行われました。今年度はさらに規模を拡大し、九州4地区合同での活動を計画しております。非常にインパクトのあるイベントとなることを切望しています。

5.パートナーシップとの共同奉仕活動

今回の国際協議会で、ヒューコ事務総長はパートナーシップの重要性を述べています。他団体とコラボすることで、大きなインパクト与えることができます。さらにパートナーシップとの関係性は会員増強、公共イメージアップ、ファンドレイジングに繋がるのです。日田市では今年度ライオンズ地区ガバナーが選ばれています。そして次年度は私がロータリーガバナーとなります。つまり小さな地方都市から二年続けてビッグクラブガバナーが誕生するのです。これを偶然の素晴らしい機会と考え、お互いのクラブ同士で交流することにしました。そして本年2月15日にはライオンズガバナーが日田ロータリークラブで卓話をされます。私も後日ライオンズクラブ例会に出向き、お話しすることになると思います。これは第一歩です。今後さらに2つの関係性が密接となることを期待しています。

昨年より進められておりました台湾第3523地区との姉妹地区提携がいよいよ完結されます。大森副ガバナーそして堀川ガバナーのご尽力により、このビッグチャレンジが現実化することになりました。すでに同地区との交流は始まっておりますが、今後地区内での姉妹クラブ締結も行われ、さらに関係性が深まると思います。私たちは素晴らしいパートナーを得ることになったのです。

6.地区の数字目標達成

最後に地区的具体的数字目標を明記します。

会員 総 数:2,720人、女性会員数:30%、My Rotary登録率:70%

年 次 基 金:一人当たり150ドル

ポリオプラス:一人当たり30ドル ポールハリスソサイエティ:30人

米山奨学会:年間一人当たり15,000円

国際協議会を含め三度のガバナーエレクト研修を受け、さらにMy Rotaryのラーニングセンターでの自己学習を行い、私も何とかガバナーとなるスタートラインに立つことができました。まさに試行錯誤の毎日であり、大きな不安しかありません。しかし、堀川ガバナー、大森副ガバナー、硯川パストガバナーとともに2年前にスタートしたGENDM(Governor, G. Elect, G. Nominee, G.N. Designate-Meeting)が、私を大いに支えてくれました。このミーティングは原則として月に一度毎週日曜日の朝Zoomで開催されています。ここで私は非常に多くのことを学び、多くのことを理解し、そして成長させていただきました。皆様には衷心より御礼申し上げます。堀川年度がスタートした昨年7月に硯川パストガバナーは勇退され、現在三村GNと藤田GNDが参加されています。私も教わる立場から、少しずつ経験を伝える立場になりつつあります。他地区に自慢できる2720地区的この素晴らしいチームワークを今後も大事にしたいと思っております。

最後になりますが、今回のセミナー開催にあたりまして多大なご尽力を賜りました堀川ガバナー、瀧地区研修リーダー、地区幹事そして副幹事の皆様、地区研修委員会の皆様、そして日田ロータリークラブの皆様に心より感謝を申し上げ、ガバナー方針の結語としたいと思います。